

# VZ - Ramシリーズ VZ - Ram PLUSシリーズ 補足説明書

株式会社アライヘルメット  
☎330 - 0841 埼玉県さいたま市大宮区東町2-12  
☎048 - 641 - 3825



181214-j8

Printed in Japan

サイズ(54)(55-56)のお客様へお知らせ  
オプションパーツの追加のお知らせ  
VZスピーカーベースについてのお知らせ

## サイズ(54)(55-56)のお客様へお知らせ

ヘルメットのかぶり心地向上のためにシステム内装の仕様変更が行われました。変更後のシステム内装は新規パーツとなり、パーツの名称や部品番号が以下のように変更になっていますのでご注意ください。尚、お客様がすでにお買い求めのヘルメットは、仕様変更に対応済みとなっておりますので、どうぞご安心してお使いください。

パーツ名	サイズ	部品番号	メーカー希望小売価格
VZ - Ram EPシステム内装	II - 10 mm (54)	075778	¥3,700
	II - 7 mm (55-56)	075779	

**(54)(55-56)サイズのヘルメットは、取扱説明書32ページの【調節パッドによるシステム内装のサイズ調節】に対応していません。システム内装のパッドを剥がすことはできませんのでご注意ください。**

## オプションパーツの追加のお知らせ

パーツ名		部品番号	メーカー希望小売価格
VAS-Z ミラーシールド ライトスモーク	ブルー	031008	¥7,800
	シルバー	031006	
	レッド	031007	
	グリーン	031009	
VAS-Z ミラーシールド セミスモーク	ブルー	031012	
	シルバー	031010	
	レッド	031011	
	グリーン	031013	
VAS-Z PSロングサンバイザー(スモーク)		031028	¥2,800
VAS-Z PSロング サンバイザーミラー	スモーク/シルバー	031029	¥6,900
	スモーク/レッド	031030	
	スモーク/ブルー	031031	

記載されているメーカー希望小売価格は、すべて税抜き価格です。お買い求めの際には消費税が付加されます。尚、アライヘルメットではヘルメットやパーツ類のお客様への直接販売を行っていません。お客様のお近くのオートバイ用品取扱店にてご注文及びご購入ください。

## VZスピーカーベースについてのお知らせ

この度、利便性の向上のためVZスピーカーベースの仕様変更が行われました。尚、お客様がすでにお買い求めのヘルメットは、既に仕様変更に対応済みとなっておりますので、どうぞご安心してお使いください。

### VZスピーカーベースとは

VZスピーカーベース（以下スピーカーベースと表記）は、取り付けることで耳部分下側の窪み段差を解消し、市販の通信システムを取り付けやすくするアイテムです。

お客様がご使用になる通信システムのスピーカー裏面の形状やスピーカーコードの取り出し位置などに応じて、ハサミなどを用いてスピーカーベースに切れ込みを入れたり、部分的にカットすることができます。

※スピーカーベースは左右共通です。スピーカーベースの単品販売は行っていません。

発泡スチロール製の衝撃吸収ライナは絶対に削ったり穴を開けたりしないでください。安全性を著しく損ないます。

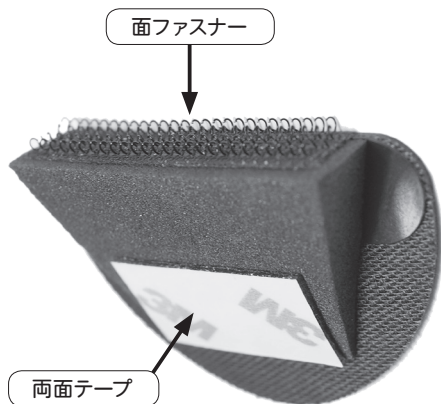


### スピーカーを取り付ける場合

設置したスピーカーユニットが揺れ動かないようにするためにスピーカーベース裏面の両面テープの保護紙を剥がして、両面テープをヘルメットの内面に貼り付けてください。

### スピーカーを取り付けない場合

スピーカーベースを両面テープで固定する必要はありませんのでそのままご使用ください。尚、スピーカーベース自体を外してヘルメットをお使いいただいてもけっこうです。

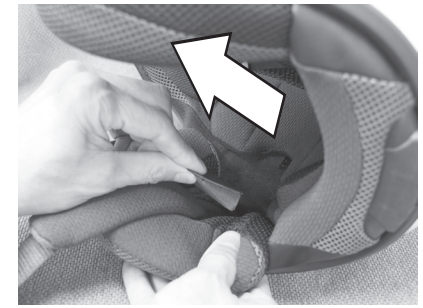


スピーカーベースは、面ファスナー側が上で、両面テープ側が裏となります。



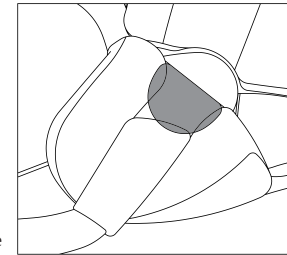
### スピーカーベースの外し方

スピーカーベースの下端をしっかりとつかんで矢印の方向に引っばると外れます。



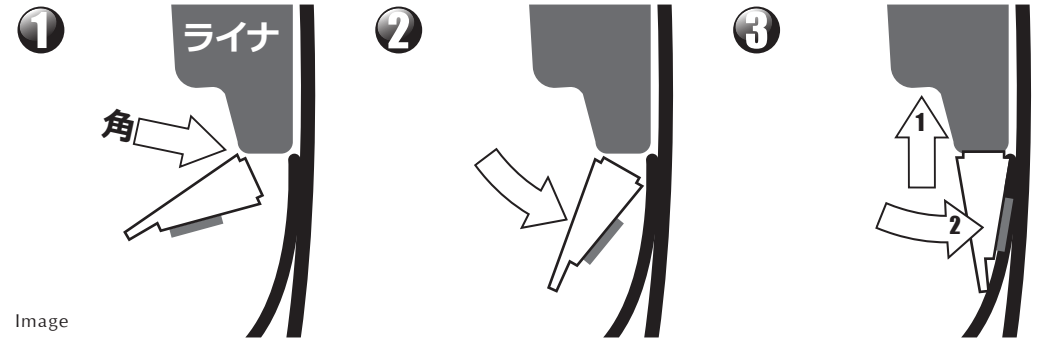
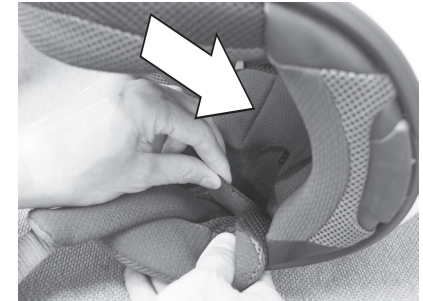
### スピーカーベースの付け方

1. スピーカーベースの向きとライナ側の窪みの場所を確認して、スピーカーベースを取り付けます。



※ヘルメットの右側への、スピーカーベースの取り付け場所。

Image



Image

スピーカーベースの角とライナの角を合わせます。

※スピーカーユニットを取り付ける場合は、両面テープの保護紙を剥がしておきます。

スピーカーベースを下向きに回転させます。

ライナへ押し付けて面ファスナーを圧着し、両面テープ側も同じく圧着します。

2. スピーカーベースに浮きが生じないように全体を押さえます。最後に、スピーカーベースがライナの窪みにピッタリと収まっていることをご確認ください。

